



輝くときわっ子

令和8年7月17日
武雄市立橋小学校
文責 校長 白濱 勝

学校教育目標：「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」 No.6

ついこの間まで大雨の心配をしていたと思ったら、熱中症警戒アラートが発表され、35度を超える蒸し暑さが・・・本校でも日傘やクールネックをして登校する姿が見られました。



ときわっ子グループでゴミ拾い

6年生が各学年の先頭になって朝の時間にゴミ拾い活動を行いました。橋町への感謝の気持ちを込めて、JAや公民館付近まで道路に落ちているゴミを探しました。低学年の児童も一生懸命にゴミを探す姿が見られ、学年をこえて町への恩返しをする温かい時間となりました。活動後には「思ったよりゴミがあった」「きれいになって気持ちがいい」などの感想が聞かれ、環境を大切にする心が育っていることを感じました。



山崎建設さんへ町探検！

2年生は町探検の学習で、地域の建設会社である山崎建設を訪問しました。子どもたちは、仕事の内容や働く人の工夫について、担当の方から分かりやすく教えていただきました。普段は見ることのできない重機の説明に目を輝かせ、実際に乗せていただき「大きい～」「うわ～」といった声が聞かれました。地域の仕事に触れることで、町の人々が支えてくれていることに気づいてくれたことでしょう。



“さがすたいる”をまなぼう！

“さがすたいる”とは多様な人々が混ざり合い、お互いの思いを知り、ハード（設備）とハート（支え合い）でみんなが安心して過ごせる佐賀をみんなでつくるプロジェクト のことです。

3年生は総合的な学習の時間に、佐賀県が進める“さがすたいる”の取組について学びました。視覚障害の方が来られてお話を聞いたり、一緒に校舎内を同行援護して歩いたりしながら、身近な場面で行える思いやりの行動について理解を深めました。また、点字がついた道具など目の不自由な方にも使用できる工夫がされている実物を見ながら「こんな工夫があると助かる」「とっても工夫されている」といった前向きな意見が多く聞かれました。学んだことを学校生活や地域での行動につなげ、互いを大切にする気持ちを育んでいければいいですね。



橋小 平和宣言！～ゆずり合い、ぽかぽか言葉をつかい、えがおですごせる 橋小～

橋小学校では、平和について考える平和学習を通して、子どもたち一人一人が「平和とは何か」「自分にできることは何か」を見つめ直しました。戦争の悲しみや、日常の中にある小さな思いやりの大切さを学び、互いを尊重しながら過ごすことが平和につながることを確かめました。そして、今年度つくった平和宣言をもとに、子どもたちがこれからも平和ですごせますように！



保護者様へ

1学期前半、いろいろな面でご協力していただき、本当にありがとうございました。

さて、子どもたちが楽しみにしている長い夏休みが始まります。日差しが一段と強くなるこの時期は、熱中症の危険もありますし、ニュースでは水の事故なども聞こえてきます。安全に気をつけながらこの長期休みにしかできないような事に取り組んで、充実した夏休みを送っていただけたらと思います。子どもたちと元気な笑顔で8月25日(火)に会えることを楽しみにしています。